

新しい年も、平和の旗を高く掲げて！

謹んで初春のご挨拶を申し上げます。

2017年 新春
代表理事一同・事務局長

新春随想

2016年の振り返りと2017年の抱負

～ 民青同盟茨城県委員会・高橋誠一郎 ～

九州・大分から水戸に出て来て早4年……。初めて茨城の土を踏んで、右も左もわからなかった私は、すっかり茨城県人になりました。4年間通った大学も今年度で卒業し、来年からは社会変革をすすめる一員として、新しい生活を迎えます。

2016年は焼津市で開催された3・1ピクニデー集會に初めて参加し、核兵器廃絶を目指して活動する全国の仲間と連帯しました。久保山愛吉さんの墓参行進では、久保山さんが愛したバラ1輪を片手に、焼津駅からお墓のある弘徳院まで歩きました。「原水爆の犠牲者は私を最後にして欲しい」という久保山さんの言葉は、これからの時代を担う世代として、核兵器廃絶の強い責任を感じさせました。

また8月には、広島で開催された原水爆禁止世界大会に初めて参加。民青同盟と一緒に活動する仲間とともに参加しました。大会には全国各地から5,500人が集まり、会場はかなりの熱気に包まれていました。2日目の分科会では「非核平和の自治体づくり」に

参加し、非核行政に取り組む全国の自治体のようすを知ることができました。日本では全国で89.7%を占める1,604の自治体が非核都市宣言を行っており、茨城ではすべての自治体が宣言をしています。大会では新たに「ヒバクシャ国際署名」が提起されました。私自身も、1人の力は小さいですが、核なき世界に向け、より一層活動に励んでいきたいと思ひます。

2017年は4年間共に過ごした学生仲間とも離れ離れになり、それぞれ違う道に進みます。所属が教育学部なので友人の多くは教師として教育現場で働くこととなりますが、私はこの激動の政治情勢の下、国民1人1人の生活向上、平和な日本を守るために社会変革の道に進みます。厳しい道が続くとは思いますが、節を曲げず、活動に確信をもってこれからの新しい人生(=自分にとっての「本史」)を歩んでいきたいと思ひます。父親も年金者組合で活動する同志。親の事業を引き継ぐつもりで頑張ります。



平和意見広告

賛同の御協力ありがとうございました！

■「戦争法廃止」「沖縄に基地はいらない」「原発廃炉」をテーマにして！

2016年の12月は、戦争法の発動による「駆けつけ警護」「宿営地防護」の新任務が、11月15日に閣議決定され、新任務に基づいて自衛隊が南スーダンに派遣されました。自衛隊員に戦死者が出る可能性が非常に高くなっています。

沖縄の東村高江ではオスプレイ用ヘリパッド建設が強行されています。村民の思いを無視したその建設の強行は、法治国家を投げ捨てたとしか思えない蛮行を重ねています。

また「原発はいらない」の市民の声を無視して再稼働を強行しています。原則は「稼働40年で廃炉」ですが、安倍政権は40年を超える老朽原発の再稼働を続々と強行し、規制委員会を推進委員会に変質させている状況です。

許すことはできません。

歓迎！新入会員のみなさんです。
よろしくお願ひします。

- ** ** さん (土浦市)
- ** ** さん (潮来市)
- ** ** さん (潮来市)
- ** ** さん (つくば市)

*ともに平和の声をおおきく広めていきましょう！

12月19日(月) 昼も夜もいっせいに行動

(DAY)女性たちによる著名活動



「新日本婦人の会」「茨城県母親大会連絡会」などが中心になって、核兵器廃絶に向けての著名に取り組みました。

(NIGHT)戦争法廃止 トーク&パレード



「戦争廃止を求める茨城県民連絡会」と「茨城県市民連合」共催による催しは、午後5時から水戸駅南口で集會、午後6時からパレードを行いました。

平和新聞

2016年12月25日・2017年1月5日 新年号
2128号 (毎月5,15,25日発行)

1950年12月16日第三種郵便物許可 発行 日本平和委員会
1部140円 月額400円 〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館
(郵送料月額120円) 電話03(3451)6377 FAX03(3451)6277

平和かわら版 平和新聞茨城版 No.766 新年号

2016.12/25-2017.1/5
発行：茨城県平和委員会 〒310-0912 水戸市見川5-127-281
Tel/Fax 029-251-2806 E-mail ibahei@amber.plala.or.jp

事故からわずか6日で、原因究明もないままのオスプレイの飛行再開に対し、日本平和委員会では怒りをもって抗議します。

稲田朋美 防衛大臣 殿

オスプレイの飛行再開に断固抗議する

2016年12月19日 日本平和委員会

本日午後2時前、米軍普天間飛行場所属のMV22オスプレイが普天間飛行場を離陸し、飛行を再開した。

本日午前、米第3海兵遠征軍は13日に墜落したMVオスプレイの飛行を再開するとの声明を発表。在日米軍のマルチネス司令官は「安全性に関し徹底的に確認した」と述べた。そして、沖縄防衛局の中嶋浩一郎局長は県庁などを訪れ、午後2時にオスプレイの飛行を全面的に再開すると伝えた。また、稲田防衛大臣は米側の説明を受け、「防衛省、自衛隊の知見、そして専門的見地、経験則などから合理性がある」と理解を示した。

稲田防衛大臣は事故後、翁長知事の飛行中止と配備撤回の要請に対し「すべては安全確認と理解が前提だ。しっかり取り組んでいく」と述べていた。稲田大臣と安倍政権のとった対応は、この言明を完全に裏切るものと言わねばならない。

日本政府が事故原因の調査・究明に自ら関わることもなく、米軍の一片の声明をもって「安全」と追認し、飛行再開を沖縄県に通告したことは、県民、国民の安全をないがしろにした、対米従属そのものの許しがたい姿勢である。

このような沖縄県民を愚弄した態度は、県民に決して受け入れられず、県民の怒りをいっそう高めざるを得ない。私たちは沖縄県民とともに、事故原因の徹底究明、オスプレイの飛行停止と配備撤回、普天間基地の早期の閉鎖・撤去、新基地建設・米軍ヘリパッド建設中止を、ここに改めて強く要求するものである。また、横田基地への米空軍特殊作戦用CV22オスプレイの配備、木更津基地への整備拠点づくり、佐賀空港の自衛隊オスプレイ拠点基地化の計画を撤回すること、全国での一切の訓練の中止を求めるものである。

初午まつりで会いましょう

とき 2017年 2月11日 (土)

ところ 百里公園内 (小美玉市)

百里基地建設反対の闘いは、1956年8月「百里基地反対期成同盟」が結成されてから今年で60年を迎えます。その中で1967年に百里基地訴訟(百里裁判)がたたかわれ、1978年には「百里基地反対連絡協議会」が発足し、現在も党派を超えた統一組織として多くの個人、労働組合、平和団体、政党等が結集した初午まつりを支えています。

普段はご無沙汰している人たちとも会える楽しみは初午まつりのだいご味です。



平和公園の管理作業について(連絡)

1 期 日

1月12日(木)

9時30分開始

■ 雨天時は、1月16日(月)に延期します

2 場 所

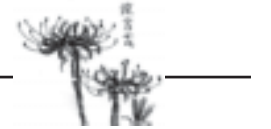
平和公園



追悼 小川三也さんを悼む

つくばみらい平和の会の前会長だった小川三也さんが逝去しました。告別式で平和の会の弔辞を捧げました。

弔 辞



小川三也さん、平和運動の同志の小川さん、平和の会の仲間としてお別れの言葉を述べさせていただきます。

小川さんはつくばみらい平和の会の会長として平和への強い思いで活動をしてきました。特に憲法九条を守ることに努力してきました。皆さんから「憲法おじさん」と呼ばれる位でした。足が不自由な体にもかかわらず毎年5月3日の憲法記念日には東京で行われている中央集会にいつも参加されていました。

平和の会の役員会や学習会は小川さんの書斎を使わせてもらいました。書斎には沢山の関係書籍があり、それらを使って憲法の学習会にはチューターとして熱弁をふるっていました。懐かしい思い出です。

小川さん、安らかに眠りください。しかし今の日本の情勢を考えると、時々私たちの平和活動を見守り、叱咤激励して頂きたい気持ちです。

私たちは決して小川さんを忘れることはないでしょう。



2016・11・11

つくばみらい平和の会 芦田洋治

鹿行平和委員会、12月に新しい仲間を3人も!

諸星事務局長が直接訪問し、加入を呼びかけて!



鹿行平和委員会は、毎月第3木曜日、午後6時30分から事務局会議を開催して活動報告や今後の取り組みについて話し合っています。事務局長の諸星さんがレジメを作成し、それをもとに新しい仲間を迎えることも話し合います。諸星さんが直接訪問して呼びかけたところ12月にはいっぺんに3人の新しい仲間を迎えることができました。

1人は福祉団体の代表をしている高齢の男の方です。訪問して平和委員会の活動を説明し、加入を申し入れたところ快諾してく

れました。もう1人はそのスタッフの方です。二人の方は以前から平和委員会で話題に上っていましたが、実行されないままでした。今回諸星事務局長のアタックで新会員として迎え入れることができました。

3人目の人は「戦場の村」などの映画会などにも参加してくれた方です。訪問して平和運動について話をしたあと加入を勧めたところ、二つ返事で加入してくれました。

直接訪問して率直に呼びかけることの力を改めて確認された取り組みでした。